

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年4月9日 (2009.4.9)

【公表番号】特表2008-531545(P2008-531545A)

【公表日】平成20年8月14日 (2008.8.14)

【年通号数】公開・登録公報2008-032

【出願番号】特願2007-556688(P2007-556688)

【国際特許分類】

C 0 7 C 69/74 (2006.01)

C 0 7 C 233/63 (2006.01)

C 0 7 C 219/12 (2006.01)

C 0 7 C 233/60 (2006.01)

C 0 7 C 327/32 (2006.01)

C 0 7 C 327/30 (2006.01)

C 0 7 C 69/757 (2006.01)

C 0 7 C 69/753 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/197 (2006.01)

A 6 1 K 31/25 (2006.01)

A 6 1 K 31/215 (2006.01)

A 6 1 K 31/216 (2006.01)

A 6 1 K 31/16 (2006.01)

A 6 1 K 31/225 (2006.01)

C 0 7 H 13/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/7024 (2006.01)

C 0 7 D 277/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/426 (2006.01)

C 0 7 D 295/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/5375 (2006.01)

C 0 7 D 307/38 (2006.01)

A 6 1 K 31/357 (2006.01)

A 6 1 K 31/34 (2006.01)

C 0 7 D 319/06 (2006.01)

C 0 7 D 319/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 69/74 C S P Z

C 0 7 C 233/63

C 0 7 C 219/12

C 0 7 C 233/60

C 0 7 C 327/32

C 0 7 C 327/30

C 0 7 C 69/757 Z

C 0 7 C 69/753 A

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 9/10 1 0 3
 A 6 1 P 9/04
 A 6 1 P 9/10
 A 6 1 K 31/197
 A 6 1 K 31/25
 A 6 1 K 31/215
 A 6 1 K 31/216
 A 6 1 K 31/16
 A 6 1 K 31/225
 C 0 7 H 13/08
 A 6 1 K 31/7024
 C 0 7 D 277/24
 A 6 1 K 31/426
 C 0 7 D 295/08 Z
 A 6 1 K 31/5375
 C 0 7 D 307/38
 A 6 1 K 31/357
 A 6 1 K 31/34
 C 0 7 D 319/06
 C 0 7 D 319/20

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月20日(2009.2.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

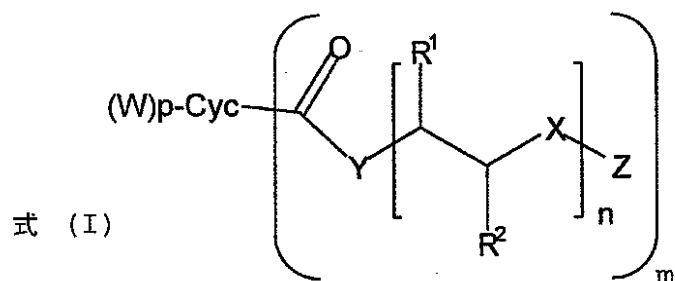
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次式(I)によって表される化合物またはその薬学的に受容可能な塩、エステルもしくはプロドラッグであって、

【化1】



式中、

(a) WはC₁～C₆アルキル、ハロゲン、必要に応じて置換されるアリール、必要に応じて置換されるアラルキルまたは必要に応じて置換されるアラルケニルであり、

(b) CycはC₃またはC₄シクロアルキルであり、

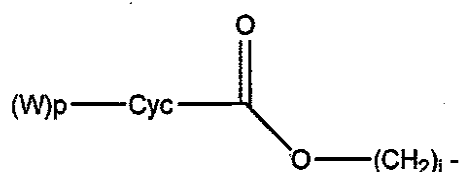
(c) pは0～4の整数であり、

(d) mは1または2であり、

(e) YはO、SまたはNRであり、

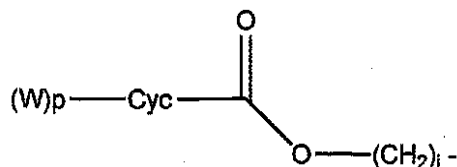
(f) XはO、S、NRまたはCR³R⁴であり、

(g) R は H、アルキル、アリールまたは
【化 2】



であり、式中、i は 2 ~ 4 の整数であり、

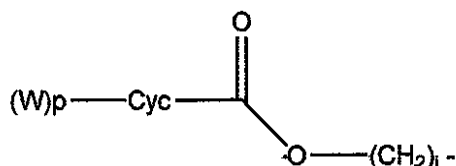
(h) Z は H、アルキル、複素環アルキル、シクロアルキル、アリールまたは必要に応じて置換される $C_1 \sim C_6$ アルキルカルボニルまたは
【化 3】



であり、

X が NR である場合には、R は

【化 4】



であり、または X が NR である場合には、R および Z は N と一緒になって窒素含有複素環式環を形成し得、

(i) R^1 は H、アルキルまたはアリールであり、

(j) R^2 は H、アルキル、アリールまたは = O であり、

(k) R^3 および R^4 は、独立に、H、アルキルもしくはアリールであるか、または、X が CR^3R^4 である場合には、 R^3 および R^4 は炭素原子と一緒に、複素環式環を形成し得、

(l) n は 0 ~ 10 の整数であり、

ここで、該化合物が、以下：

1 - メチル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

2， 2， 3， 3， テトラメチル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

トランス - 2 - メチル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

2， 2 - ジクロロ - 1 - メチル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

(1S， 2S) - 2 - フェニル - スチリル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

1 - (4 - メトキシ - フェニル) - シクロプロパンカルボン酸， 2 - エトキシ - エチルエステル、

1 - フェニル - シクロプロパンカルボン酸， 2 - [2 - (2 - メトキシ - エトキシ) - エトキシ] - エチルエステル、

1 - (1 - フェニル - 1 - シクロプロパンカルボン酸) - 2 - (1 - フェニル - シクロプロパンカルボニルオキシ) - エチルエステル、

シクロプロパンカルボン酸， 2 - シクロプロパンカルボニルオキシ - エチルエステル、

シクロプロパン - 1， 1 - ジカルボン酸， ビス - (2 - エトキシ - エチル) エステル、

シクロプロパンカルボン酸， 2 - メトキシ - エチルエステル、

シクロプロパンカルボン酸，2 - (4 - メチル - チアゾール - 5 - イル) - エチルエステル、

シクロプロパンカルボン酸 - 2 - モルホリン - 4 - イル - エチルエステル、

シクロプロパンカルボン酸，5 - エチル - [1 , 3] - ジオキサン - 5 - イルメチルエステル、

シクロプロパンカルボン酸，2 , 3 - ジヒドロ - ベンゾ (1 , 4) - ジオキシシ - 2 - イルメチルエステル、

シクロプロパンカルボニルスルファニル - 酢酸メチルエステル、

シクロプロパンカルボチオ酸，S - (2 - アセチルアミノ - エチル) エステル、

シクロプロパンカルボチオ酸，S - フラン - 2 - イルメチルエステル、および

1 , 2 , 3 , 5 , 6 - ペンタ - O - (シクロプロパンカルボニル) - D - グルコピラノース

からなる群より選択される、化合物。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の少なくとも 1 種の化合物の、グルコース利用を増大させる量を含む薬学的組成物。

【請求項 3】

温血動物の細胞、組織または器官におけるグルコース利用を増大させるための組成物であって、請求項 1 に記載の少なくとも 1 種の化合物のグルコース利用に効果的な量を含む組成物。

【請求項 4】

前記器官が心臓である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記細胞が心筋細胞である、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 6】

グルコース利用を増大させることによって治療可能な生理学的状態または障害を治療するための組成物であって、

請求項 1 に記載の少なくとも 1 種の化合物のグルコース利用を増大させるのに有効な量を含む組成物。

【請求項 7】

前記障害または状態が、虚血 / 再灌流損傷、心筋梗塞後、狭心症、心不全、心筋症、末梢血管疾患、糖尿病および乳酸アシドーシスまたは開心術、バイパス手術または心臓移植に伴って起こる症状もしくは副作用である、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

前記障害または状態が虚血 / 再灌流損傷である、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

請求項 2 に記載の薬学的組成物を含むキット。

【請求項 10】

前記キットが、インビトロ、インビボまたはエキソビボにおいて該キットの構成要素を使用するための指示を含むラベルまたは添付文書を含む、請求項 9 に記載のキット。